



今できること
プロジェクト
2024-2025
学び直しと伝承

中学生に
託す伝承の
バトン

震災伝承新聞完成レポート③ / 仙台市立五橋中学校→山元町

中学生がつなぐ記憶と教訓

仙台圏3校の中学生が東日本大震災の被災地で新聞記者として取材を行い、その成果を河北新報印刷紙面「震災伝承新聞」として2月11日に発行。仙台市立五橋中学校では、記事を製作した8人による校内発表会が行われました。

取材で得た学びの成果を共有

3月11日、仙台市立五橋中で震災伝承新聞の取材報告会が行われ、中学生記者8人が取材成果をリモートで発表しました。山元町震災遺構中浜小学校を案内された東北大学地域復興プロジェクトHARUに所属し、発災当時5歳だった東北大農学部2年の遠藤てまりさん（福島出身）、貫洞美月さん（東京出身）が、語り継ぎを志した背景を紹介。山元町では津波が襲った歴史が受け継がれて

いなかったため、637人が犠牲になりました。その反省から整備された町の防災拠点で、次への備えを学びました。宮城県内の小学6年生は、6人に1人が東日本大震災が発生した日付を知らないという調査結果が出ていることから、震災を挟んで生まれた自分たちが、教訓を次世代に受け継ぐ必要性を訴えました。津波浸水域を豊かな実りを生む大地に変えようと挑戦を続けるやまもとファームみらい野では、被災農家の雇用維持に貢献する加工場を見学。

取材を通じて、動画では伝わらない肉声を持つ力を感じたこと、自分たちが語り部の一員としてバトンをつなぐ決意を述べ、報告を結びました。



カメラの前で取材の成果を発表する中学生記者

発表会参加者

佐藤 心乃さん(2年)

発表を聞いて、改めて震災の生々しい恐ろしさ、被災された皆さんの気持ちを知ることができました。同学年の人に伝えてもらったからこそ、より自分事として、この震災を忘れてはいけないのだと感じました。身近なところから、故郷の未来を守る取り組みをしたいです。



中学生記者

尾形 晟士さん(2年)

被災地を回り、さまざまなお話をうかがった内容を、どのようにすれば大切なところが伝わるかなど、細部まで考えて発表をしました。今回の発表を聞いた人が、震災について正しく知り、命を守ることの大切さを胸に刻み、防災に努めてくれればと思います。

「震災伝承新聞」を
発行しました!



中学生たちが作り上げた「震災伝承新聞」は、こちらからご覧いただけます。



「震災伝承新聞」は、宮城県内184の中学校へ配布したほか、石川県輪島市立門前中、愛媛県今治市立近見中、兵庫県西宮市立浜脇中などで教材として活用されました。各地の震災伝承施設、仙台市図書館、そなエリア東京、宮城県大阪事務所などでも配布しています。

震災伝承新聞の送付をご希望の学校、団体、施設等は事務局までお問い合わせください。
[お問い合わせ] 今できることプロジェクト事務局（河北新報社営業部） tel 022-211-1318（平日10:00～17:00）

今回参加した中学生記者全員の「声」を今できることプロジェクトホームページに掲載しています。

これまでの活動内容や新着情報は「今できることプロジェクト」特設HPをご覧ください。 www.kahoku.co.jp/imadeki/ 河北 今できること 検索 facebookページもあります。

私たち賛同企業も、再生と伝承のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトに賛同し、推進していきます。

IHI / アサヒビール 東北支社 / 石巻市震災遺構門脇小学校・大川小学校 / NTTデータ東北 / 花王 / キリンビール 東北統括本部 / ケーズデンキグループ・デンコードー / 劇団四季 / 光輝ビルテクノス / 神戸製鋼所東北支店 / サッポロビール / サントリー 東北営業本部 / JFEスチール仙台製造所 / JTB 仙台支店 / 住友不動産 東北事業所 / 生命保険協会 宮城県協会 / 仙台環境開発 / DICグラフィックス / 伝承千年の宿 佐助 / 東亜道路工業東北支社 / 東伸環境 / 日本製紙 / 日本製紙クレシア / 日本損害保険協会 / 日本郵便 東北支社 / ネクステージ / 野村不動産 仙台支店 / 東日本油化工業 / 平松剛法律事務所 / 藤崎 / 富士フィルムグラフィックソリューションズ / みちのく企業グループ / 三井住友海上 / 三井不動産 / 三菱地所グループ / 三菱重工機械システム / 宮城県建設業協会 / 宮城県自動車整備振興会 / 宮城交通 / みやぎ生協 / 明治安田生命 仙台支社 / リコージャパン 宮城支社（順不同）
◎後援 / 宮城県、仙台市、石巻市、松島町、南三陸町、山元町、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

若き語り部デビュー

東北大生2人 山元の震災遺構中浜小で案内



【仙台市立五橋中】命の歴史を語り継ぐ。東北大学に所属する2人の学生が、仙台市立五橋中へ来て、震災遺構中浜小学校を案内した。中浜小学校は、2011年3月11日の震災で、津波に襲われ、校舎が倒壊した。現在は、校舎跡地に、震災遺構として、中浜小学校の校舎の跡地を再現し、当時の様子を伝える。2人は、この遺構を訪れ、当時の様子を語り、生徒たちに伝えた。2人は、この遺構を訪れ、当時の様子を語り、生徒たちに伝えた。

農業法人やまもとファームみらい野
浸水域で栽培 工夫重ねる



島田社長「収量と品質 上げていく」

島田社長は、この遺構を訪れ、当時の様子を語り、生徒たちに伝えた。島田社長は、この遺構を訪れ、当時の様子を語り、生徒たちに伝えた。

「学んで助かる命ある」
山元町内や防災拠点見学

山元町内や防災拠点を見学し、当時の様子を語り、生徒たちに伝えた。山元町内や防災拠点を見学し、当時の様子を語り、生徒たちに伝えた。

聞いて！ 知って！ 同世代へのメッセージ

風化させず伝えるべく
風化させず伝えるべく、中学生記者たちは、震災の記憶を語り継ぐために、さまざまな取り組みを行っています。

地盤後の確認難しい
地盤後の確認が難しいため、中学生記者たちは、さまざまな取り組みを行っています。

震災を思い出した
震災を思い出した中学生記者たちは、さまざまな取り組みを行っています。

軽引を継ぐ必要がある
軽引を継ぐ必要があるため、中学生記者たちは、さまざまな取り組みを行っています。

「戻る」を伝える存在に
「戻る」を伝える存在に、中学生記者たちは、さまざまな取り組みを行っています。

今を生きる大事を知る
今を生きる大事を知るため、中学生記者たちは、さまざまな取り組みを行っています。

震災発生を知った
震災発生を知った中学生記者たちは、さまざまな取り組みを行っています。

消防団員の被災した感動
消防団員の被災した感動を、中学生記者たちは、さまざまな取り組みを行っています。